

●地域おこしや空き家の解消に尽力されている団体●

★ NPO 法人 地域を元氣にする会

人口減少・少子高齢化が急速に進む宍粟市を少しでも元気にしたいという理念のもと令和元年8月に設立し活動しています。主な事業は、荒廃里山の再生・活用を目的とした里山再生事業、地域の情報発信を行うメディア関連事業、少子高齢化対策としての婚活応援事業、住まいに困っておられる方に対する居住支援活動です。

増え続ける空き家を活用できないか計画中です。
地域には沢山の課題があり、すぐには解決できない事ばかりですが、解決に向け力をあわせて頑張っています。

ホームページ：<https://sisoudeai.sub.jp/>



★ 宍粟くらし移住支援舎（しそくら）

平成24年に設立した民間団体で、現在10名のメンバーにより運営されています。活動の柱は、①移住・定住に関する情報収集と発信、②交流イベントの開催・参加、③空き家等の利活用推進の3点です。

これまで、宍粟市へ移住された方へのインタビューを中心とした情報発信をウェブ媒体で行い、メールや電話にて移住検討者からの問合せに応じてきました。

また、市内探訪や映画上映会、バーベキューといった交流イベントを実施し、移住者同士のつながりづくりを進めています。令和5年には地域おこし協力隊を初めて受け入れ、令和7年現在も空き家活用を担う協力隊員を募集しています。さらに、地元企業に学生を迎える「地域滞在チャレンジ」では過去3名の学生をコーディネート。令和7年夏には婚活イベントを開催し17名にご参加いただきました。現状は拠点を持たずに活動していますが、今後はコミュニティースペース兼シェアハウスなどといった移住相談や協力隊活動の拠点となる空間の運営を目指しています。

ホームページ：<https://shisokura.jp>



ベンチャー留学

★ よいまちプロジェクト（旧：山崎中心市街地活性化委員会）

町家や酒蔵を活用した地域活性化を目指して地域住民有志により平成 28 年に組織されました。

その活動の中に、町家や古い建物を改修し、店舗としての利活用促進をしていく建物改修事業があり、改修工事は「宍粟まちづくり(株)」が担当し、「よいまちプロジェクト」は出店者の募集や選考を行っています。出店者選考のポイントとして、商売として成立する事はもちろん、地域活性化への貢献意欲なども重要で、これまでに 6 件を改修し、いずれも地域活性化や集客に貢献しています。

町家改修等に関する県補助金が令和元年度に終了し、またコロナ禍で大幅な活動縮小がありました。令和 4 年から、もっと自由に活動しようと組織体制を見直し、通称であった「よいまちプロジェクト」を前面に出し、再スタートしました。

現在は、閉園し解体予定であった山崎幼稚園の園舎を地域づくりに活用するため市や周辺自治会と協議を続け、令和 4 年 12 月に園舎の解体中止と、園舎活用が決定し山崎幼稚園旧園舎活用推進プロジェクト（やまようミラッソ）として取り組んでいます。

インスタグラム：instagram.com/yoimachi_project/



★ NPO 法人 しそう空き家サポートセンター

平成 28 年 5 月に司法書士・土地家屋調査士・一級建築士・宅建士など地域の専門家が連携し、宍粟市内の空き家で困っている方を支援するために設立した団体です。

空き家の相談、定期管理、空き家バンクへの登録や補助金申請の代行など、市と市民をつな

ぐ架け橋として活動を進めており、気軽に相談できる地域の窓口として安心して暮らせるまちづくりに貢献しています。

ホームページ：<https://www.shiso-akiya.net>